

# 長距離水中流動 充てん材普及へ

## カジマ・リノベイトらが研究会

カジマ・リノベイトら  
を設立した。

9社は、水中で最大100m以上の距離を流動させても材料の分離や品質低下が生じない長距離水中流動充てん材「Hiiio」(ヒーロー=High level ing for long distance)の普及と技術発展を目的に、「Hiiio研究会」

設立総会が8月30日、

東京都千代田区のスクワール麹町で開かれ、初代会長にカジマ・リノベイトの齋藤健社長が選任された。事務局は東京都新宿区住吉町の同社本社内に置く。本年度は積算・施工マニュアルの作成や

講習会の開催、広報活動に注力する。

Hiiioは、東京電力

福島第1原子力発電所の海水配管トレンチ内に滞留した汚染水を除去するために東京電力、東京パワートテクノロジ、鹿島の3社で共同開発したセメント系充てん材で、充てん材が品質を安定して保ちながら硬化し、汚染水と置き換わる仕組み。Hiiioの打設が発電所作業員の被ばくと汚染水漏えい対策に貢献したと

して、工事を施工した鹿島とカジマ・リノベイトに4月、総理大臣感謝状が贈られた。

設立総会後の懇親会で齋藤会長は「Hiiioの技術開発や施工には多くの方々に協力いただき、研究会を設立できたことをうれしく思う。会員内の活発な交流により、さ



らなる普及と発展を目指したい」とあいさつし、写真。今後、工場の海水配管や古い上下水道管、閉山した鉱山トンネルの充てんなどへの活用も検討していく。

会員企業は次の通り。

【正会員】カジマ・リノベイト、立花マテリアル、ケミカルグラウト、日特建設、ライト工業、花王

【特別会員】東京電力ホールディングス、東京パワートテクノロジ、鹿島。

2016年9月7日

# 環境新聞

## 長距離水中「ヒーロー」の普及・発展へ研究会発足

東京電力福島第1原発の海水配管トレンチ内に滞留した汚染水を除去するために開発された長距離水中流動充填材「ヒーロー」のさらなる普及と技術の発展を目指す研究会が先月30日、東京都内で発足した。

### 会長に齋藤カジマ・リノベイト社長



齋藤会長

副会長には立花マテリアル(大阪府豊中市、06・6865・1610)の石井三郎社長と花王の寺澤謙二・インフラ営業部長、事務局長にはカジマ・リノベイトの三輪敏彦・常務取締役が就任した。

同研究会は今後、運営委員会を核に事業を展開し、積算・施工マニュアルの作成や同講習会の開催、広報活動に注力していく方針。

「ヒーロー」は、水中で長距離を流動させても材料の分離や品質の劣化が生じない特殊なセメント系充填材で、東京電力、東京パワーテクノロジー(東京都江東区、原英雄社長、03・6372・7000) および鹿

### 福島第1原発の汚染水除去に貢献

島建設の3社が共同開発した。

実際に福島第1原発のトレンチ内に充填することで、滞留していた大量の汚染水を置換・除去し、リスクの大幅な低減に貢献。この工事を施工した鹿島建設とカジマ・リノベイトは、厳しい環境下で困難な作業を完遂したことが高く評価され、内閣総理大臣感謝状を受けた。

「ヒーロー」は、発電所や臨海部に立地する工場の海水配管等の水中構造物や各地の地中埋設管など、水中にあってアクセスが容易でない構造物に広く応用可能。使用済みの古い上下水道管や閉山した鉱山トンネルの充填などにも活用できるという。

問い合わせ先は「ヒーロー研究会」(事務局・カジマ・リノベイト内、03・3351・1122、電子メール: info@hilo - kenkyukai.jp)。